取扱説明書

E300N2D E300NT2D E300N2N902D
E300N2G730D E300N2B912D

DAYTONA corp.

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
*本書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ず本書も併せてお渡しください。

GIVI E300N2 シリーズ	適応車種
	モノロックベース用

■ご使用前に必ず、ご確認ください■

※ 商品保証につきましては保証書記載の保証規定に沿って行ないます。また、この商品の使用をもって保証規定全てを理解・承諾したものとみなします。ご使用前に必ず内容をご確認のうえ、説明書・レシートと共に大切に保管してください。保証書やレシートを紛失した場合や保証書販売店記入欄に店舗記載・捺印のない場合、新品購入履歴が不明な場合などは当社所定の商品保証を受けられません。あらかじめご了承ください。

※ この商品の使用をもって本書記載の内容全てを理解・承諾したものとみなします。ご使用前に必ず内容をご確認ください。本書記載の内容を守らずに取り付け・取り扱いしたことにより発生した不具合や事故損害は、如何なる場合でも保証対象外であり、当社および GIVI 社では一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

⚠警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
⚠注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

禁止	禁止の行為であることを告げるものです。	その他	その他の警告及び注意を告げるものです。
実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。		

⚠警告

禁止

- この商品は指定懸架ステーに所定の状態で取り付けられた GIVI モノロックベース専用品です。GIVI モノキーベース（M3、M5、M7）などのベースには取り付けできません。また、GIVI 社指定以外のベースプレートには使用しないでください（保証対象外）。
- 指定最大積載重量（ケースに収容可能な内容物の MAX 総重量）は 3kg です。ケースやフィッティング、純正キャリア等の指定を超える総重量となる内容物をケースに収納することは絶対にお止めください。
- ケース脱着が困難な場合は、ケース取り外しボタンやベースプレート勘合部に不用意に無理な力を加えないでください。変形や破損など予期せぬ不具合（保障対象外）が発生する場合があります。
- この商品をつかんでのメインスタンド掛けや車体の取り回しはお止めください。変形や破損など予期せぬ不具合（保障対象外）の原因となります。
- 法定速度を必ず遵守することを前提に、いかなる場合でも 100km/h を超える状態での走行使用は行なわないでください。操舵性の変化などにより、破損や脱落など予期せぬ不具合や事故損害（何れも保証対象外）の原因となります。
- オフロードなど悪路での走行使用は行なわないでください。破損や脱落など予期せぬ不具合や事故損害（何れも保証対象外）の原因となります。

⚠注意

実施	• パッケージ開梱時やその後の商品取り扱い時に、パッケージや商品端面で指を切るなど予期せぬ怪我や事故、内容物の破損など（何れも保証対象外）が発生する場合があります。十分ご注意ください。 • この商品をパッケージから取り出した際に、商品構成や外観に不備がないことを必ずご確認ください。未使用品以外の外観不良は保証対象外につき、万一お気付きの点がございましたら、ご使用になる前のこの段階でお買い求めの販売店に速やかにご相談ください。 • この商品の構成部品は金属や樹脂を素材としております。経年変化や使用損耗により素材劣化が生じ、予期せぬ不具合（保証対象外）が発生する場合があります。必ず定期的に点検整備を行なってください。定期的な点検整備や日々のメンテナンスを怠り発生した不具合や事故損害、および経年変化や使用損耗により発生した不具合や事故損害につきましては、如何なる場合でも当社および GIVI 社では一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。 • ケース脱着作業は安定した平らな場所で、作業中の車体の安定と周囲の安全を十分確保したうえで確実に行なってください。作業が適切に行なわれないと、作業中やご使用中に部品破損や脱落など予期せぬ不具合が発生する場合があります。商品自体に瑕疵がなく発生した不具合や事故損害につきましては、如何なる場合でも当社および GIVI 社では一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。 • ケースの蓋を開ける際は、所定の制御範囲を超えて、ヒンジ部に無理な力が掛かるまで最大開口させないでください。変形や破損など予期せぬ不具合（保障対象外）の原因となります。 • ケースの蓋を閉める際やロックして走行使用する際は、荷物が蓋に挟まれていないことを必ず確認してください。変形や破損など予期せぬ不具合（保障対象外）の原因となります。 • この商品を車体に取り付け走行使用すると、車両の重量増加や重心変化、空気抵抗増加などにより、ハンドリングやブレーキ性能などが悪化します。操舵感覚や制動感覚に慣れるまでは十分慣らし運転を行なってください。このような変化はタイヤの磨耗や空気圧の低下、ステムやホイール、スイングアームのベアリング類の磨耗などによっても発生します。定期的に各部を点検整備し、安全に走行使用してください。 • 走行中に異常が発生した場合は直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。
その他	• この商品は指定懸架ステーに所定の状態で取り付けられた GIVI モノロックベース専用品です。指定された GIVI 社の適応商品以外との組み合わせは未確認（保証対象外）につき、如何なる不具合や事故損害が発生したとしても、当社および GIVI 社では一切の責任を負いません。 • 素材と製造方法、製品個体差により、仕上がり品質はお手元の商品程度となります。表面の傷や歪み、蓋の勘合具合、ベースプレートへの組付フィット感など、程度の差につきましてはあらかじめご了承ください。 • ご使用環境やご使用状況によってはケース内部が高温になる場合があります。 • この商品は防滴性を考慮した設計ですが、完全防水ではありません。ケース内容物の防水・破損対策はお客様の自己責任で行なっていただく必要があります（保証対象外）。あらかじめご了承ください。 • リフレクター（レンズ）への水の浸入は保証対象外です。雨天走行時や洗車時などはリフレクター（レンズ）内部に水が入ることがありますのであらかじめご了承ください。 • ケース自体は施錠できますが、盗難を完全に防止することはできません。車両を離れる際はケース内に貴重品を入れたままにしない、ケースを取り外して持ち歩くなどの自己防衛が必要です。 • 商品保証につきましては保証書記載の保証規定に沿って行ないます。また、この商品の使用をもって保証規定全てを理解・承諾したものとみなします。ご使用前に必ず内容をご理解のうえ、説明書・レシートと共に保証書を大切に保管してください。保証書やレシートを紛失した場合や保証書販売店記入欄に店舗記載・捺印のない場合、新品購入履歴が不明な場合などは当社所定の商品保証を受けられません。あらかじめご了承ください。 • この商品は予告無しに価格や仕様を変更する場合があります。また、文中にて紹介した他の商品についても同様です。あらかじめご了承ください。

商品内容

	パーツ名	数量	NO	パーツ名	数量
①	ケース（30リットル）	1	⑥	六角穴付きボルト　（M6×30）	4
②	キー	2	⑦	ナイロンロックナット　（M6）	4
③	ベース（ラバー）	1	⑧	タッピングスクリュー	2
④	スクエアワッシャ	4	⑨	ベースカバー	1
⑤	波形プレート	4			

ベース取り付け法

1-1.⑨ベースカバーをマイナスドライバー等を利用し取り外します。この際⑨ベースカバーの爪を折らない様に注意してください。

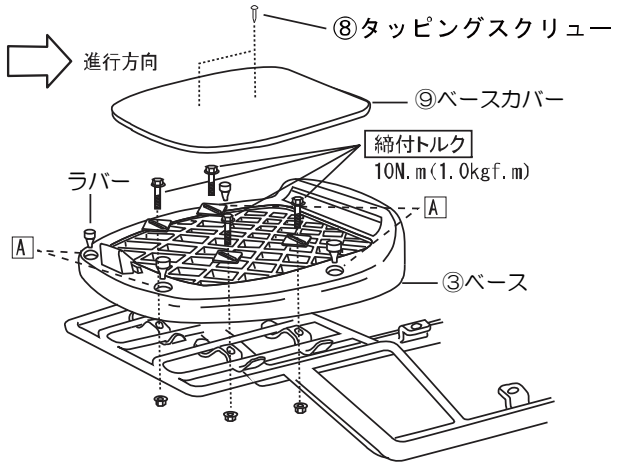
1-2.車輌のキャリアの上に、④スクエアワッシャ、⑤波形プレート、⑥六角穴付きボルト、⑦ナイロンロックナットを使用して③ベースを取り付けます。締付トルク１ＯＮ・ｍ（１．０ｋｇｆ－ｍ）

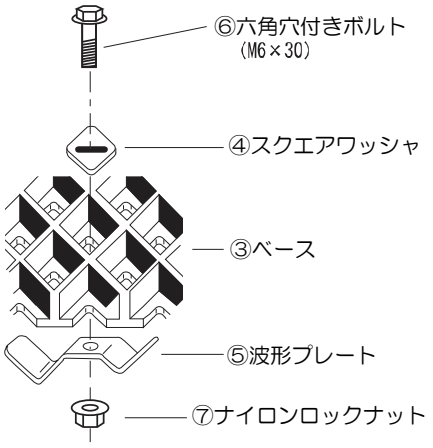
⚠注意車体側のキャリアの形状によっては、③ベースが変形する場合があります。そのまま取り付けると、①ケースが取り付けできない場合があります。市販のワッシャやスペーサーを利用し、③ベースが変形しない様に組み付けてください。

1-3.③ベースに⑨ベースカバーを取り付けます。

⚠注意⑨ベースカバーがはまりにくい場合は、タオルなどをかぶせ、プラスチックハンマー等で軽く叩きながらはめ込みます。その際、⑨ベースカバーの爪を折らない様に注意してください。

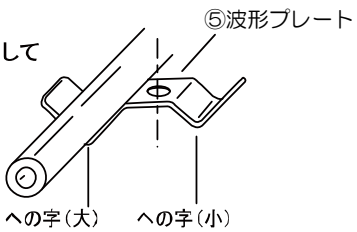
1-4.⑧タッピングスクリュー(2本)で⑨ベースカバーを止めます。



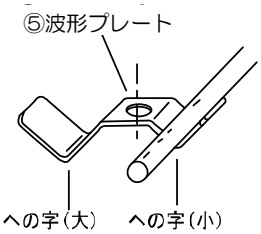


⑤波形プレートの使用方法

太いパイプの場合
への字(大)側を使用して
取り付ける。



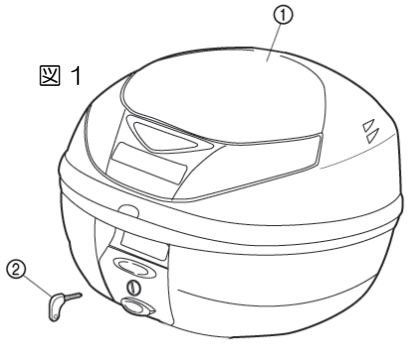
細いパイプの場合
への字(小)側を使用して
取り付ける。



①ケースを開く

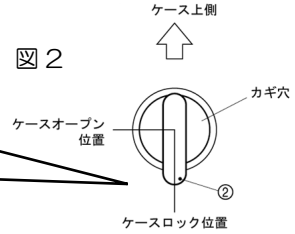
1. ①ケースのカギ穴に②キーを差し込みます。（図１参照）

図１



2. ②キーを右（3 時方向）に回し、ケースオープン位置に合わせます。（図２参照）

図２



3. カギ穴上部の赤いボタンを押すとケースフラップのロックが解除されます。

4. ①ケースのフタを持ち上げます。

①ケースを閉じる

1. ①ケースのシリンダーに②キーを差し込み、右（3時方向）に回した状態でフタを閉じます。

⚠警告

・フタが完全に閉まっていない状態で使用すると、走行中の振動などによりフタが開く可能性があり非常に危険です。

⚠注意

・ケースのフタに物を挟んだ状態で無理に閉めないでください。ケースロック等の破損により、①ケースのフタが閉められなくなる場合があります。

2. フラップの「PRESS」と書かれた三角マークの上側（☆印）付近を押さえながら、下側に下ろす感じを意識してフタをロックします。（図３参照）

⚠注意

図 3 のフラップ断面図を参照し、必ずフラップ上端のツメを①ケースの溝に掛け、しっかりとロックしてください。

3. ②キーを左（１２時方向）に回してボタン類の施錠をします。
この状態で②キーを抜くことで、全てのボタンがロックされ、フタの開閉ができなくなります。

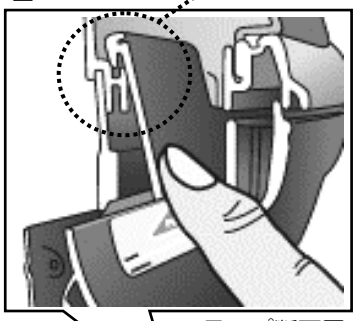
⚠注意

・キーが左（１２時方向）に回らない場合は、①ケースのフタがしっかりロックされているかの確認をしてください。

4. 全てのボタンがロックされ、フタが開かないこと、フラップが半ロックではないことを十分確認した後、②キーを抜きます。

フラップのツメを掛ける

図３



フラップ断面図

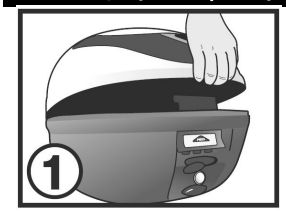
■フラップのロック状態の確認方法

キーシリンダー上の解除ボタンを押してもフタのロックが解除できない（フラップが開かない）場合は、解除ボタンが奥に引っ込んだ状態（フラップ半ロック状態）になっています。その場合は、下記の手順で解除してください。

正常ロック状態

半ロック状態

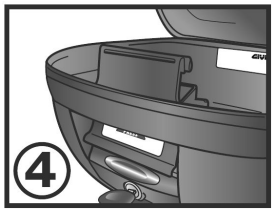
■フラップ半ロック状態の解除方法



①フラップ半ロック状態ではフタはロックされておりません。抵抗がありあすが強めに引っ張ってフタを開けてください。

②フタを外すとロック部のフラップが出てきます。

③そのフラップ部を奥に倒してください。



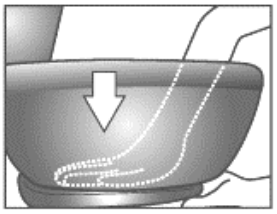
④フラップが定位置に戻り、フラップ半ロック状態が解除できます。

■より確実なベースへの取り付け方法（固定しにくい場合など）

上フタを開けた状態で①ケースをベースに合わせ、左手でベースを持ち上げぎみにしながら、右手で①ケースの底部を上から押さえてロックします。

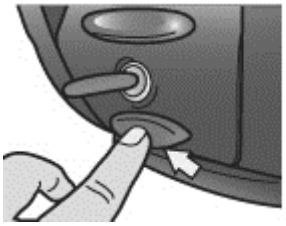
⚠注意

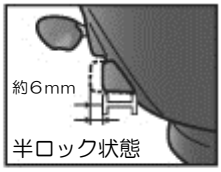
小型車は、リヤサスペンションが軟らかいため、上から押さえただけでは確実なロックができない場合があります。原付スクーター（一種/二種問わず）は特に注意が必要です。必ずこの方法で取り付けしてください。



■ベースへのロック状態の確認方法

①ケースをベースにロックした後、必ず①ケースを上方向に引っ張ってロック状態を確認してください。ロック状態の確認方法は、キーシリンダー下側のケース取り外しボタンを軽く押さえたとき、図のようにボタンの位置が、正常時より約６mm奥に引っ込んだ状態（ベース半ロック状態）になっている場合は、正常にケースがベースにロックされていません。これを解除するにはケース取り外しボタンを今一度強く押し、ケースをベースから取り外して、再度確実に取り付けを行なってください。





ご使用上の注意

1.キャリア本体の積載制限以上は積載しないでください。車体の破損・運転操作に悪影響がでます。
2.ケースは確実に取り付け、走行前には必ずケースを持ち上げ外れないことを確認してから走行してください。
3.貴重品や振動、耐熱性、耐水性に劣るものはケースの中に入れないでください。内容物の取り扱いは自己責任でお願いします。
当社ではいかなる場合でも内容物に関しての補償はいたしません。

東証JASDAQ上場 株式会社デイトナ　〒437-0226　静岡県周智郡森町一宮４８０５

本書の記載内容の一部または全部を無断転載することを禁ず。デイトナ商品についてのご質問、ご意見は、
0120-60-4955 まで。営業時間　平日　午前９：00～午後６：00
ＵＲＬ総合 http://www.daytona.co.jp　　ＧＩＶＩ専用 http://www.givi-jp.com

GIVI モノロックケース　補足説明書

⚠警告 **走行中のケース脱落防止の為に下記の確認を走行前に必ず行ってください。**
ケースがベースに完全に固定されていない(仮固定)状態で走行すると走行中にケースが外れ大変危険です。

完全に固定されているか(本固定)の確認

装着後、ケース本体を上方向に持ち上げ、ベースから外れないかどうか確認してください。しっかり固定されていればケースは外れません。

途中で引っかかって仮固定されている状態(注 1)で持ち上げると外れてしまいます。仮固定の状態でもキーロックは出来てしまいますので、ご注意ください。

途中で引っかかって仮固定されている可能性がありますのでもう一度しっかり上から押して完全に固定してください。

注 1　ベースとケースの固定の特徴。
ケースを押し込む力の加減により、一度で本固定出来ない場合があります。ケースをベースに押し込む際、途中で固定された様な抵抗を感じられます(仮固定状態)が、そこからさらに下にケースを押して確実にベースに本固定させてください。
（“カチッ”　という音でケースの固定を判断しないでください。**仮固定状態でも”カチッ”という音が発生します。**
この状態で走行しますと、ケースが外れてしまい大変危険です。）

【ベースをバイクキャリアに装着する際の注意】
ベースを車体のキャリア等に装着させる際、ベースに歪みが出ないように均等な力で装着してください。
ベースが歪んでいる状態ではケースがうまく装着できません。

オプション品バックレスト装着時の補足説明

■走行中のケース脱落防止、キャリアの破損防止、ライダーの落車防止の為に下記の使用方法を守ってお使いください。ケースが外れる可能性があり大変危険です。
●バックレストは補助的なものです。
常に体重をかけた状態で使用しないでください。
ケースが外れたりキャリアが破損した場合は落車の可能性があり大変危険です。
※ケースやフィッティングはライダーの体重を支えるようには設計されておりません。
●バックレストの有り無しに関係なく、ケースやキャリア、専用フィッティングに寄りかかったり過度の力をかけない様にしてください。
ケース本体や取付部分、キャリア、専用フィッティングが破損しケースが外れる可能性があり大変危険です。